

## 令和7年度第2回 関東学生ホッケー連盟役員会議事録

日時：2025年5月28日（水）

時間：18:30～20:00

場所：品川区総合体育館会議室、オンラインも使用しハイブリッドで実施

出席者：一川邦彦（副会長）、塩野谷住雄、菅野芳哉（以上監事）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊、成田健一（以上副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、三澤孝康、栗原崇、高田良太、石田英司、渡邊道彦（以上常任理事）、潮崎一徳（学連委員長）、仲澤元（競技委員長）東條光希（学連副委員長）、島村倫瑠（表彰委員長）、布川将理（審判委員長）、米地雄一朗（広報委員長）、峰岸佳子（財務委員長）、丸山鈴佳（書記）、河野明彦（慶應副学連）

古屋会長が欠席のため、一川副会長が代行して開催を宣言。

### 【審議事項】

#### 1. インカレ準備について

①インカレ実行委員会立ち上げ、インカレ運用組織図、実施要項案について宮澤事務局長より説明があった。運営組織案は以下の通りである。

運営委員長 一川邦彦 副運営委員長 久我晃広 寺本祐治

実行委員長 潮崎一徳 副実行委員長 仲澤元 東條光希 島村倫瑠

運営委員 関東学連 社会人常任理事 学連役員

・実施要項については「参加申込方法：JHA登録管理システムを利用すること」「行動規範確認書の提出方法」「ペナルティーコーナー時の守備側プレーヤーのマスク着用必須」を新たに加え、日学連理事会で審議される旨の説明があった。

②インカレ予算案について萬納副理事長より説明があった。また昨年よりJSC助成金受領しているが、その留意事項についても説明があった。「昨年は新規広告獲得が好調だったが、今年も継続できるように対応願いたい」「インタビュー用のバックボードの準備は、今年から関東学連で対応する必要がある」「パンフレットの相見積が必須になる」などの説明があった。

以上、実施要項案、インカレ予算案については別途、日学連常務理事会で審議となるが、関東学連として上記案を承認した。

③工程表について潮崎委員長より説明があった。

・毎年、申込書提出が遅くなり、パンフレット校了が後ずれする傾向がある。今年は、Bインカレ日程も考慮しつつ可能性のあるチームには早めに申込書展開するなどの対応を図ることを確認した。

・秋リーグでの大井使用時にリハーサルを行い、プリンター稼働、物品の在庫状況など確認が必要。

・インカレ運営主体は学生であり、各自が工程表に基づいて対応する必要がある。また不明点は昨年の担当に確認することを徹底した。

### 【報告/連絡事項】

1. 東京農業大学男子チームの諸費用の納付の遅延について、東京農業大学から遅延についての説明文書の提出があった旨、萬納副理事長より報告があった。

・一川副会長から、東京ホッケー協会加盟費未納のチームも複数あり、懸念していると。関東学連においても、リーグ参加申し込みの際に未納有無を確認する旨、潮崎委員長より説明があった

2. 東西交流戦について、女子チーム編成について島村副委員長より報告があった。監督選出（就任依頼）に際

し、来年以降は必ず春季リーグ監督主将会議で、一部男子5位・女子5位が監督就任いただく旨を、事前に周知徹底することを確認した。

3. 令和7年度所属審判講習会収支決算報告について、布川審判委員長より報告があった。

4. 春季リーグの反省事項などについて、潮崎委員長より報告があった。

最後に、一川副会長より、ホッケー界を盛り上げていく観点から、「2026年には駒沢の人工芝張替えが見込まれているが、引き続きホッケー用の人工芝が敷設されるよう、稼働率を上げていく必要がある」「大井についても、同様にホッケーでの稼働率を上げていく必要がある」「ホッケーを盛んにするために何ができるか考える必要がある」との説明・意見があった。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 潮崎一徳